

本会議から付託された議案11件及び請願1件を審査するため、3月10日に厚生委員会を開催しました。

議案第1号 平成25年度総社市一般会計補正予算（第6号）

～内容～

事業の確定及び確定見込みに伴う補正のほか、地域少子化対策交付金事業により、結婚から育児までの切れ目のない支援を行うための経費の増額が主なもの。

～結果～

特に、質疑、討論もなく、本委員会の所管に属する部分は、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第2号 平成25年度総社市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

～内容～

一般被保険者にかかる保険給付費の増額及び保険基盤安定繰入金の確定に伴う補正が主なもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第3号 平成25年度総社市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

～内容～

後期高齢者医療保険料収入の増額及び繰越金の確定に伴う補正が主なもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第4号 平成25年度総社市介護保険特別会計補正予算（第3号）

～内容～

地域支援事業にかかる人件費等の補正が主なもの。

～結果～

質疑，討論もなく，全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第12号 総社市自転車駐車場指定管理者の指定について

～内容～

清音駅自転車駐車場の指定管理者に，引き続き，清音駅駐車場管理組合を指定しようとするもの。

～結果～

質疑，討論もなく，全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第13号 財産の取得について

～内容～

下倉地内に計画している一般廃棄物最終処分場の用地及び立木を取得するにあたり，取得予定価格及び面積が総社市財産条例の規定に該当することから，市議会の議決を得ようとするもの。

～結果～

質疑，討論もなく，全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第14号 総社市一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧手続等に関する条例の制定について

～内容～

一般廃棄物の最終処分場を下倉地内に設置するにあたり，生活環境影響調査の結果を縦覧に供する必要があるため，必要な事項を定めようとするもの。

～結果～

質疑，討論もなく，全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第15号 井原鉄道株式会社が所有し、又は使用する固定資産に対する課税免除に関する条例の一部改正について

～内容～

井原鉄道株式会社の安定的、永続的な運行を確保するため、地方税法の規定に基づき、同社が所有し、又は使用する固定資産に対する課税の免除期間の延長を行おうとするもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：免除される税額はどれくらいになるのか。

答：平成25年度が約700万円であり、資産の減価償却を考えると、10年間で6,000万円程度かと思う。

議案第22号 平成26年度総社市国民健康保険特別会計予算

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：ジェネリック医薬品に切り替えることによって、どれくらいの医療費を削減することが可能か。

答：実際に通知を送ったのが約1年前であり、半年分の効果額として約430万円が削減できた。

問：歳入について、滞納者への取組はどのようになされているのか。

答：早期の滞納者の方を増やさないように、納税係で『ミニ・コールセンター事業』として、電話で催告を行っている。26年度からは、財産調査員として嘱託員1名を雇用する予定であり、滞納処分へ力を入れていきたい。

議案第23号 平成26年度総社市後期高齢者医療特別会計予算

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

議案第24号 平成26年度総社市介護保険特別会計予算

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定。

～質疑～

問：地域包括センターに係る事業を民間委託して2年近く経過したが、業務は順調に行われているのか。

答：地域包括センターに係る事業を直営から市内六法人に委託して、現在2年目になる。切り替わった当初は、事務所の場所や顔ぶれが変わったこともあり混乱があったが、2年目になり地域に浸透し、おおむね順調に進んでいる。

問：市内の介護施設のベッド数は、増加傾向にあるのか。このことについて、どのように考えているか。

答：第5期の介護保険事業計画（平成24年度から26年度まで）の中では、施設整備の計画がないのでしばらくは増えていないが、実際は、かなりの方が入所を待たれている状況である。第6期の介護保険事業計画（平成27年度から29年度まで）をこれから検討し作成していくが、本当に必要なベッド数やこういった性格の施設が必要なのかを検討しながら進めていきたい。

平成25年請願第7号 子どもの医療費無料化の拡大を求める請願

～請願内容～

子どもの医療費無料化の対象年齢を引き上げるとともに、子どもの医療費無料化制度の創設又は拡大を関係機関に働きかけるよう求めるもの。

～結果～

「対象年齢の引上げについては、財政的にかなり厳しい面があり、小学校6年生まで医療費無料、中学校3年生まで入院費無料という、現在の制度を堅持していくべきと考えられる」との理由から、全員一致で**不採択**とすべきであると決定。

一般会計予算審査特別委員会から分担された部分を審査するため、3月10日に厚生分科会を開催しました。

議案第21号 平成26年度総社市一般会計予算

～結果～

次のような審査の結果、本分科会に分担された部分については、全員一致で可決すべきであると取りまとめることに決定。

～質疑～

問：権利擁護センター設置委託料が、25年度と比較して大幅に増額している理由は何か。

答：平成25年度は600万円の予算であったが、26年度は約2,300万円を計上している。増額分については、国のモデル事業として、生活困窮者の方に対して相談事業を行うため、専門の職員を増員する予定である。26年度から包括的に権利擁護センターへ業務を集中させて、相談・支援事業を充実させていきたい。

問：総務費に計上されている『清流まつり補助金』については、市の祭りという位置付けであるため、一括交付金に含まないとのことだが、そうであれば、商工費に予算計上すべきではないか。また、福祉関係の祭りの補助金についても、福祉予算に計上すべきではないか。

答：『清流まつり補助金』については、どの費目がよいのか、今後検討をしていきたい。また『健康福祉フェア実行委員会補助金』については、予算編成の時点で結論が出ていなかったため、個別の補助金として計上しているが、一括交付金が始めるようであれば、その中に含める予定である。

問：一括交付金制度について、平成26年度から開始する地区としない地区とがある。実施するのであれば、全市的に開始できるように調整をしなければ、市民の方から不満の声が出るのではないか。

答：8地区については開始できることになったが、残り9地区については開始できないという現状がある。現時点での一括交付金制度が100パーセントの制度とは考えていないので、実施後に問題点があれば、修正すべきところは修正をしていきたい。

問：一括交付金制度を開始しない地区が9地区あるとのことだが、今後の予定はどうか。

答：9地区のうち、小さい小学校区については、積極的に働きかけをしていきたい。大きい小学校区については、周知が足りていないのが現状だと思うので、町内会単位や小部落単位での説明会を開催し、タウンミーティングを行い、26年度中には地域づくり協議会が設立できるよう努力していきたい。

問：雪舟くんについて、時間帯によっては予約がいっぱいで追加車両を出しているとのことだが、一番多い時間帯の状況はどうか。

答：最も多い時間帯は、9時便、10時便であり、郊外から中心地へ来る時間帯の運行である。応援車両を出したり、場合によっては「11時便でしたら空いておりますが」などと、時間帯のスライドをお願いしたりしている。

問：防犯灯設置委託料1,500万円が計上されているが、一般質問で答弁があった国道180号以外で、どの場所を予定しているのか。

答：今議会本会議で、国道180号についての質問があり、積極的に行っていくとの答弁があった。今回「総社市夜空ぴかぴか大作戦」ということで、まず、中学生の通学路に指定されている部分から実施をしていきたい。それから、シンボルロードである大きい道路に水銀灯がかなりあるが、電気代がかなりかかっているのので、これを改めデザイン化したようなものを考えていきたい。

問：放課後児童クラブ施設指定管理委託料が計上されているが、26年度希望者を預かれない状況の小学校区はあるのか。そのような状況があれば、将来的な対策を考えているのか。

答：総社・常盤・山手小学校区からそのような状況を聞いている。総社及び常盤小学校区については、施設の拡充を視野に入れて、総社市の子ども・子育て会議の中で議論する予定になっている。事業実施計画案が平成26年6月頃に出るかと思うので、そのことをふまえ、平成27年度以降に、施設の整備について計画に沿って対応できればと考えている。山手小学校については、小学校の中に専用教室を作り運営しているので、小学校の修繕の関係もあり、小学校の方と協議をしていきたい。